



臨床研究部
からの
お便り

食物アレルギーの新しい治療 「経皮免疫療法」臨床試験のご紹介

第40回

はじめに

三重病院は、三重県のアレルギー疾患医療拠点病院として、重症なアレルギー疾患を持つ患者様も多く診察させていただいております。そのような患者様に対して、なんとかよりよい治療ができないかと考えながら診療させていただいており、その一環として「特定臨床研究」といった新規治療薬を用いた研究を行っていますので、その1つを紹介させていただきます。



食物アレルギー治療の現状

食物アレルギーの患者さんは年々増加傾向にあると言われています。食物アレルギーは年齢が上がるとともに、多くの患者さんは良くなっていくと言われていますが、特に小学校入学前後までに良くならなかった場合、自然になおる可能性が低く、大人になっても食べられない可能性が高いと言われています。三重病院では、食物アレルギーが治りにくいと想定されるお子さんに対して、毎日原因食物をたべて治療する方法『経口免疫療法』を実施しております。一定の効果はあがっているのですが、治療過程で原因食物によるアレルギー反応が起こることがあり、それがときに重い症状になることもあり、たいへん慎重にしています。そのようなことから、この治療法は現時点では、三重病院のような専門施設で熟練した医師が、あくまでも研究段階として行うものとされています。でも、それでは、どこでも治療を受けていただくことが難しいので、普通のクリニックでもできるような、より安全で効果的治療が求められています。

より安全、簡便な牛乳アレルギー治療法の開発を目指して

そこで、三重病院では、現在、牛乳の成分をハイドロゲルパッチというシールにのせて、これを毎日貼ることによりアレルギーをよくする『経皮免疫療法』の開発を行っています。ハイドロゲルパッチは大阪大学で開発された新しい治療デバイスです。

これは、牛乳3ml以下でも症状がでてしまう、重症牛乳アレルギーがあるお子さんに、ハイドロゲルパッチを毎日貼っていただきながら、治療効果をみるという研究です。この研究に参加いただくには様々な条件がありますが、現在牛乳アレルギーで牛乳を全く飲んでいないという患者さんがいらっしゃいましたら、ぜひ一度アレルギー外来で研究についてご質問ください。ご説明いたします。この研究は「特定臨床研究」といわれる新しい治療薬開発研究のひとつとして、国に認定された臨床研究審査委員会の厳格な審査を受けて、承認されたものです。全国の専門施設にもお願ひして、参加いただいています。

鶏卵アレルギーの治療開発も行っています

この経皮免疫療法は、重症鶏卵アレルギーのあるお子さんに対しても行っておりますので、鶏卵アレルギーの方もお問い合わせください。このような研究を通して、お口から牛乳や鶏卵を少しでも食べるとアレルギー症状がでてしまうお子さんに対して、なんとか安全に食べられるように治療を行っていきたく思っておりますので、ぜひ皆様のご協力をお願いします。

(アレルギー科、小児科 高瀬 貴文)



やまばとギャラリー 情報コーナー information



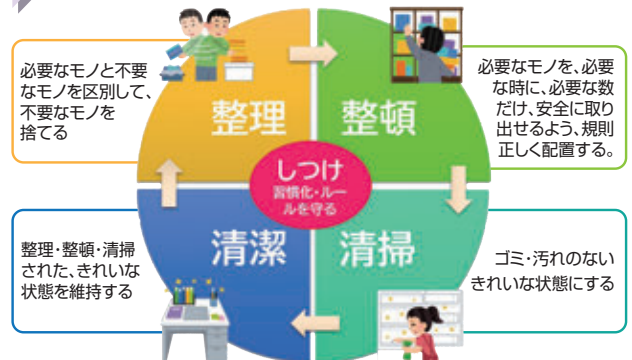
今月の作品は、「りす」です。顔やしっぽの部分には患者さんそれぞれの個性が溢れていて、どれも



とても可愛い作品になりました。患者さんが一生懸命作った作品です。是非やまばとギャラリーでご覧ください！
(児童指導員 森 日奈子)

5Sを意識して安全な職場環境に！

医療安全だより



(三重病院医療安全推進担当者部会 令和3年度 巡視グループ)